



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
 東京都中央区日本橋本町4-3-8
 担当
 TEL(03)3270-2701
 FAX(03)3270-2720
 緊急連絡 同上
 改訂日 2022/12/06
 SDS整理番号 12028359

製品等のコード : 1202-8359

製品等の名称 : ラテックス

推奨用途 : 試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)
 ゴム製品(ゴム手袋、ゴム風船、指サック、気球など)

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
 皮膚刺激性/刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(呼吸器系)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2(呼吸器系)

環境に対する有害性
 水生環境有害性 短期(急性) : 区分2

注意喚起語 : 危険

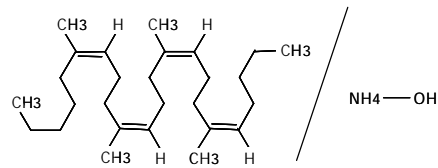
危険有害性情報

皮膚刺激
 重篤な眼の損傷
 呼吸器系の障害のおそれ
 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ
 水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】
 ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しないこと。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 眼に入った場合：水で30分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 気分が悪い時は医師の診察、手当を受けること。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。



【保管】

直射日光を避け、容器を密閉し常温暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：	混合物(天然ゴム、その他天然成分、アンモニア及び水の混合物)
化学名、製品名	：	ラテックス (別名)天然ゴム、ポリイソプレン (英名) Latex、Polyisoprene
成分及び含有量	：	天然ゴム分(主成分：cis-ポリイソプレン)、約60% その他天然成分(蛋白、糖質等)、少量 アンモニア(ラテックス粒子凝集防止安定剤)、約0.7～0.8% 水、残部
分子量	：	不定 不定 17.03 18.02
化学式及び構造式	：	[(C ₅ H ₈) _n] 不定 NH ₃ (NH ₄ OH) H ₂ O の基本骨格との構造式は、上図参照(1ページ目)。
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	：	該当なし 該当なし (1)-314 既存化学物質
CAS No.	：	該当なし 該当なし 7664-41-7 (アンモニア) or 1336-21-6 (アンモニア水) 7732-18-5
危険有害成分	：	アンモニア

4. 応急処置

吸入した場合	：	呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激などが生じた時は医師の手当を受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	：	直ちに医師に連絡する。 直ちに、水で30分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。勢いの強い水で洗浄すると、かえって目に障害を起こすことがあるので注意する。 まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 次に、コンタクトレンズを着用して固着していなければ除去し、洗浄を続ける。 眼の洗浄が遅れたり、不十分の場合は、眼の障害のおそれがある。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合	：	口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。 吐かせると再びのどや食道を通り二重に刺激・損傷を受けることになる。 直に牛乳や卵を飲ませる。 牛乳、卵がない時は、多量の水を飲ませ、体内で有害性を薄める。 意識がない時は、何も与えない。 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	本製品は水40%含有しているため燃えにくいですが、可燃性である。 散水、噴霧水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	：	棒状放水(本品があふれ出し、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こすおそれがある。)
特有の危険有害性	：	火災中に熱分解し、刺激性又は毒性のガス及びヒュームを発生することがある。 消火水は環境汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法	：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	：	有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- ： 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
 - ： 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
 - ： 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
 - ： 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項
- ： 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
- 回収、中和
- ： 漏洩物は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて、空のプラスチック製容器に回収後、希酸（希塩酸、希硫酸等）で中和し廃棄処分する。
 - ： 後処理として、漏洩場所は希酸で中和した後、多量の水を用いて洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材
- ： 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策
- ： 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
 - ： 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策
- ： 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
 - ： ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
- 局所排気・全体換気
- ： 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項
- ： すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
 - ： 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
 - ： 漏洩すると、材料を腐食させる危険性がある。
 - ： ミスト、蒸気、気体（ガス）を吸入しない。
 - ： 皮膚、粘膜等に触れると、刺激、炎症を起こすことがある。
 - ： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 - ： 取扱い後はよく手を洗う。
- 接触回避
- ： 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管
- 技術的対策
- ： 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
 - ： 保管場所は、採光と換気装置を設置する。
- 保管条件
- ： 容器は直射日光や高温を避けて保管する。
 - ： 安定化剤のアンモニアが蒸発しやすいので、容器は密栓する。
 - ： 常温（最適温度25～35℃）、暗所に保管する。
 - ： 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
- 混触危険物質
- ： 強酸、水反応可燃性物質
- 容器包装材料
- ： ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等
- その他情報
- ： 本製品に凝固防止剤として添加されているアンモニアは、蒸発（揮発）しやすいので、長期間保存していると容器からアンモニアが蒸発し、内容物のラテックス粒子が徐々に凝集してクリーミング、層分離や粘度上昇が生じることがある。この場合、蒸発したアンモニアを補給し、よく攪拌混合すると元の状態に戻すことができる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度
- ： 未設定
- 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：
- 日本産衛学会
- 25 ppm (17mg/m3) (NH₃として)
- ACGIH
- TLV-TWA 25 ppm (NH₃として)
 - TLV-STEL 40 ppm (NH₃として)
- 設備対策
- ： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
 - ： 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- ： 呼吸用保護具（アンモニア用防毒マスク）を着用する。
- 手の保護具
- ： 保護手袋（ニトリル製、塩化ビニル製など）を着用する。
- 眼の保護具
- ： 眼の保護具（ゴーグル型保護眼鏡）を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- ： 長袖作業衣を着用する。
 - ： 必要に応じて顔面用の保護具、長靴を着用する。
- 衛生対策
- ： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 - ： 取扱い後はよく手を洗う。
 - ： 汚染された作業衣は作業場から出さない。
 - ： 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態
- 性状
- ： 液体

色	： 乳白色
臭い	： やや刺激臭（アンモニア臭）
pH	： アルカリ性
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： データなし
引火点	： データなし
可燃性	： 可燃性
爆発範囲	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対ガス密度（空気 = 1）	： データなし
密度又は相対密度	： 0.95～0.96 g/cm ³ （20℃）
比重	： データなし
溶解度	： 水に混和する。
オクタノール/水分配係数	： データなし
発火点	： データなし
分解温度	： データなし
粘度	： データなし
動粘度	： データなし
粒子特性	： データなし

10．安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）

： 通常の取扱条件において安定である。	
安定化剤として添加しているアンモニアが蒸発しやすいので、	
使用後は密栓すること。開栓したら、なるべく早く使いきる。	
使用前、容器を振とうして内溶液を均等にして使用することが	
望ましい。	
危険有害反応可能性	： 水溶液はアルカリ性のため、強酸と反応する。
避けるべき条件	： 高温、日光
混触危険物質	： 強酸、水反応可燃性物質
危険有害な分解生成物	： 窒素酸化物、硫黄酸化物、一酸化炭素

11．有害性情報

【本製品のデータがないため、天然ゴム、その他天然成分、アンモニア及び水の混物としてGHS分類した。】

急性毒性	： 経口 区分に該当しない。
皮膚刺激性/刺激性	： 皮膚刺激（区分2）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： 重篤な眼の損傷（区分1）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 呼吸器系の障害のおそれ（区分2）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ（区分2）

【アンモニア水〔CAS No 1336-21-6〕のデータ】

急性毒性	： 経口 ラット LD50 350mg/kg 飲み込むと有害（経口）（区分4） 経皮 分類できない。 吸入（蒸気） 分類できない。 吸入（ミスト） 分類できない。
皮膚刺激性/刺激性	： SITTIG(4th, 2002)、DHP(13th, 2002)、ICSC(J)(1995)、EU-CLP, Annex I (2005)のヒトへの影響において腐食性が示されていることから、区分1Cとした。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（区分1C）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： RTECS(1997)およびHSDB(2003)のウサギの試験データ、SITTIG(4th, 2002)、DHP(13th, 2002)、ICSC(J)(1995)のヒトへの影響において腐食性が示されており、区分1とした。 重篤な眼の損傷（区分1）
呼吸器感作性	： 分類できない。
皮膚感作性	： 分類できない。
生殖細胞変異原性	： 分類できない。
発がん性	： in vitroのデータのみであり、データ不足のため分類できない。 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できない。
生殖毒性	： データがないため分類できない。

- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : Priority 2文書のICSC(J)(1995)にヒトへの短期暴露の影響として「気道腐食性を示し、高濃度の蒸気を吸入すると喉頭水腫、肺炎等を起こす」との記述があり、区分2(呼吸器系)とした。その他、Priority 2文書のSITTIG(4th, 2002)、DHP(13th, 2002)、RTECS(1997)にも吸入暴露により肺水腫等を起こすとの記述がある。呼吸器系の障害のおそれ (区分2)
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : Priority 2文書のICSC(J)(1995)にヒトへの反復ばく露の影響として「蒸気やエアロゾルに反復ばく露すると肺が冒される」との記述があり、区分2(呼吸器系)とした。Priority 2文書のSITTIG(4th, 2002)にも「低濃度の反復ばく露により慢性気管支炎を起こす」との記述がある。長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ (区分2)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

【本製品のデータがないため、天然ゴム、その他天然成分、アンモニア及び水の混物としてGHS分類した。】

- 生態毒性
水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に毒性(区分2)
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない。
- 残留性・分解性 : データなし
生物蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

【アンモニア水〔CAS No 1336-21-6〕のデータ】

- 生態毒性
水生環境有害性 短期(急性) : 甲殻類 オオミジンコ LC50=0.66mg/L (HSDB, 2004)
水生生物に非常に強い毒性(区分1)
水生環境有害性 長期(慢性) : 急性毒性が区分1、水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性(区分1)
- 残留性・分解性 : データなし
生物蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。(参考)中和法
少量の場合、廃液を水で希釈後、希硫酸などの希酸で中和し、廃棄処分する。
- 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制(適用法令)
陸上規制 : 特段の規制なし(分類上、非危険物)
海上規制 : 特段の規制なし(分類上、非危険物)
航空規制 : 特段の規制なし(分類上、非危険物)
国連番号 : 非該当
国連分類 : 非該当
品名 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : Y(アンモニア水(濃度が28%以下のもの))

特別の安全対策：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
必要に応じ移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物
(政令番号 第39号「アンモニアを0.2%以上含有するもの」)
名称等を通知すべき危険物及び有害物
(政令番号 第39号「アンモニアを0.1%以上含有するもの」)
(別表第9)
特定化学物質等、第三類物質「アンモニア」
(特定化学物質等障害予防規則)

消防法：非該当
毒劇法：非該当(アンモニア含有量が10%以下のもの)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：非該当〔2023年(R5年)4月1日施行にも非該当〕

船舶安全法：非該当
航空法：非該当
海洋汚染防止法：有害液体物質、Y類物質「アンモニア水(濃度が28%以下のもの)」
(施行令別表第1)

水質汚濁防止法：有害物質(施行令第2条、第一項)
「アンモニア」
〔排水基準〕100mg/L(アンモニア性窒素×0.4)
生活環境項目(施行令第三条第一項)
「水素イオン濃度」
〔排水基準〕・海域以外の公共用水域に排出されるもの
5.8以上8.6以下
・海域に排出されるもの5.0以上9.0以下

大気汚染防止法：特定物質「アンモニア」(第十七条、第一項)
輸出貿易管理令：キャッチオール規制(別表第1の16項)
HSコード：4001.10
第40類 ゴム及びその製品
・輸出統計番号(2022年版)：4001.10-000
「天然ゴム、パラタ、グタペルカ、グアユール、チクルその他これらに類する天然ゴム(一次製品、板、シート又はストリップの形状のものに限る。)
-天然ゴムのラテックス(プリバルカナイズしてあるかないかを問わない。)」
・輸入統計番号(2022年4月1日版)：4001.10-000
「天然ゴム、パラタ、グタペルカ、グアユール、チクルその他これらに類する天然ゴム(一次製品、板、シート又はストリップの形状のものに限る。)
-天然ゴムのラテックス(プリバルカナイズしてあるかないかを問わない。)」

15. その他の情報

(注)本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

【使用例：天然ゴムのボール作りの実験】

- (1) ラテックス溶液(100mL)にクエン酸1gまたは5%クエン酸溶液20mLを加える。(割ばしでよく混ぜると、粒子が固まってきます。ラテックスはクエン酸で酸性にすると固化する。)
 - (2) 手早くマシュマロ状の固まりを取り出し手のひらで丸くこね固める。このとき水滴が飛びちります。
 - (3) 水洗いして、キッチンペーパーで水気をとって完成。丸い形になっていなかったら、ハサミで丸くしてもよい。でこぼこもまた面白い。
 - (4) 弾力をためしてみる。自分のムネの高さまで飛び上がります。今は白色ですが、乾燥するにつれて色が茶色になり弾力も強くなります。
- (注意)・皮膚刺激が生じることがあるので、ゴム手袋を着用する。
・作ってから1週間は乾燥させる。引き出し等にしまってしまうとカビが生えることがあります。
このラテックスはゴムアレルギーのある人は、絶対に取り扱わないこと!

参考文献：

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。